

なすしおばら

平成 24.3.20

消費者だより

第14号

●発行 那須塩原市生活課 (☎0287-62-7126) ●編集 那須塩原市消費生活推進連絡会

去る2月19日(日)、いきいきふれあいセンターにおいて「消費生活と環境展」が盛大に開催されました。心配された天候も好天に恵まれ、大勢の人でにぎわい盛況でした。

来場者向けの食堂も設営され、婦人会の皆さんが腕によりをかけて作った美味しいうどんが振舞われ



環境劇「わが家のエコ活動」

第7回「消費生活と環境展」
見つめなおそう私たちの暮らし

れ、終日賑わっていました。どうぞ来年の「消費生活と環境展」には、ご来場ご賞味くださるようお願いいたします。

一階の廃油を使った「ろうそく作り」では、子どもたちが赤、黄、青など色とりどりのろうそくの出来映えに歓声をあげていました。地下では、黒磯那須消防組合によるAEDの使い方の講習や黒磯保健センターの骨密度測定、食生活改善推進団体連絡協議会による食事バランスガイドに大勢の人が熱心に参加していました。二階では、消費生活推進連絡会による新聞紙で作るエコバックづくりにチャレンジしていました。三階では放射能に関するパネル展示があり関心を集めていました。また、ステージではクッキング戦士クックマンの牛乳もちづくりの実演と試食があり、クックマンのパフォーマンズに見入っていました。

次のページで内容を紹介していきますので、どうぞご覧ください。



◆くらしの研究会◆
振り込めサギにご注意

◆生活学校◆
今年も実行しました



◆ストレッチ体操◆
今日も元気にがんばります

日差しは春めいてきましたが、まだ寒さが残る2月19日(日)に「第7回消費生活と環境展」が開催されました。会場のいきいきふれあいセンターは、850人の来場者でにぎわいました。



◆JA西口産直会◆

エコどんぶりでがんばっています!

◆地域婦人会連絡協議会◆

◆婦人会◆
かわいいお雛さま



◆新日本婦人の会黒磯支部◆
放射能に関心があります



手作りみそはいかがですか



◆栃木県文具事務機器組合◆
環境にやさしい文具を使ってみませんか



◆マイエコライフ◆

ゴミの減量化に取り組みました

◆黒磯環境ボランティアの会◆



那須塩原の動植物を守ろう



みんなの健康を守りたい

◆黒磯保健センター◆

◆げんごろうの会◆

街をきれいに 川をきれいに



◆たい肥センター◆



資源を再利用して生まれた堆肥を無料配布

◆セイフティーライト推進委員会◆



私たちの星空を守ろう

◆とちぎレジ袋減らし隊◆



マイバックで買い物を楽しみましょう

◆日本FP協会◆

暮らしのお金のこと考えましょう



◆食生活改善推進団体連絡協議会◆



子どもたちに食育シアターです

◆那須農業振興事務所◆



チェックしています農産物

第7回「消費生活と環境展」開催

◆青木産廃対策委員会女性の会◆



産廃モーション!

◆黒磯那須消防組合◆

私にもできるかな?



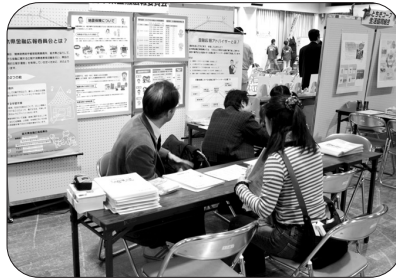
◆とちぎコープ◆

節電していますか?



◆那須環境技術センター◆

放射能って何?



災害時のお金とくらし

◆クリーニング組合黒磯支部◆



手際よいアイロン掛けを伝授

◆消費生活センター◆

クーリングオフハガキを書きました



◆関東電気保安協会◆

電気のことわかったかな?



プラ資源を再利用しました

日本ホームサービス協会

◆警察・市役所生活課◆



輪なげ私も参加しました

◆関東農政局大田原地域センター◆

自給率アップに努めましょう!



◆交通安全協会黒磯支部女性部◆



◆JRバス関東・やしお観光◆



ゆーバスに乗って出かけませんか

クックマン「牛乳もち」レシピ

《材料》 <15人分>

牛乳800cc・砂糖100g・わらび粉100g

《作り方》

- ①牛乳に砂糖とわらび粉を入れ、火にかける。この時、焦げ付かないように、木べらでなべ底を絶えず混ぜ続ける。
- ②温度があがり、濃度が出てきたら弱火にする。
- ③5～10分くらい混ぜてお餅状になったら、用意しておいたラップに入れ茶巾にし、水に落として冷やし固める。
- ④冷めたら、ラップからはずして出来上がり。

◆クックマン参上◆



◆ 関東バイオエナジー ◆

廃食油がろうそくになりました



◆ 消費生活推進連絡会 ◆

新聞紙でエコバックを作りました



◆ 下水道課 ◆

今年も人気があります



「消費生活と環境展」
体験コーナー

市内の指定避難所までの避難経路とその安全性を確認することも必要です。特に、高齢者や小さい子どもなどで避難することが難しい人が

○ 避難経路と避難方法の確認

自宅付近に、どんな被害が生じる可能性があるのかについての知識を深めたり、「那須塩原市防災マップ」などによって、市内に設置されている指定避難所を日頃から知っておくことが必要です。

○ 地域の特性を知り災害を防ぐ

我が家の震災対策

シマツタ! コマツタ! そんな時
消費生活センターへ相談

◆ 開設日 月～金曜日 (祝日は除く)
◆ 開設時間 8:30～17:00

☎ 0287-63-7900

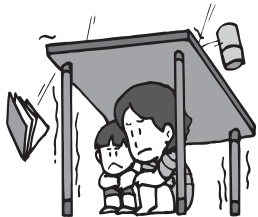
土・日曜日は消費者ホットダイヤル
☎ 0570-064-370へ

○ 屋内被害を防ぐ



いる家庭では、避難方法についても十分に検討しておくことが不可欠です。

地震というと、建物の倒壊や損壊を思い浮かべますが、建物の中で起こる被害を忘れてはいけません。建物が無事でも、屋内にあるものが移動・破損することにより、けがをすることがあります。その代表的な対策としてあげられるのが家具などの転倒・移動防止ですが、ほかにも課題があります。



家具の転倒を防止しても、観音開きの戸があいて中にあ

また、上にあるテレビ、パソコン、電子レンジなどが落ちてきたりすることがあります。そのため、観音開きの扉が勝手に開かないように工夫をするとか、物を固定するなど屋内被害を防ぐ対策が必要です。

○ 無防備な時間帯に地震が起こったら



地震はいつおこるか分かりません。睡眠中などの「無防備な時間帯」に起こることもあります。

寝る場所は、可能な限り物を置かないことや落下物が落ちないところを選ぶことが必要です。

停電で暗い家の中を歩くことは危険ですし、散乱したガラスや食器などを踏み抜いたりにして怪我をすることがあります。枕元に靴・軍手・ヘルメット・懐中電灯などを常に置いて、身の安全を守ることが心がけましょう。

編集後記

暑さ寒さも彼岸までといいますが、今年も冬は本当に寒く春を待ちこがれていました。やっと日差しも暖かさを増し、春の花たちも咲き始めています。さて、7回目を迎えた「消費生活と環境展」が2月19日に開催され「見つめなおそう私たちの暮らし」をテーマに各団体・企業などが多数出展。展示コーナー、実演、体験コーナー、ステージでの発表会、また楽しいパフォーマンスも人気を集めました。スタンプラリィは各ブースを廻り、楽しく学びながらクイズに挑戦。沢山の方にご参加いただきました。

今回のテーマにもなった私たちの暮らし。今までの暮らし方にとらわれることなく、自分達の生活を見つめ直すきっかけになったのではないでしょうか。

